
三島市長定例記者会見資料

令和2年12月

月間行事予定



※写真は昨年の様子です

三島の冬の風物詩「大根干し」

日時 令和2年11月27日（金）
午前10時30分～

場所 三島市役所 本館2階 第二会議室



PCR検査（社会的検査）業務の実施について

～社会福祉施設等で働く方や高齢者の皆様の安心のために～

新型コロナウイルス感染症の更なる感染拡大に備え、緊急事態宣言時にも本来の機能を停止できない社会福祉施設等に従事する職員が、安心して仕事を継続できるよう又、重症化が危惧される65歳以上の市民に対し、無症状であっても本人の希望によりPCR検査を実施することになりました。

ここがポイント！

- 新型コロナウイルス感染に不安を抱える無症状の者に対し、不安の軽減を図ることができます。
- 身近な場所で検査を受けられるようになります。
- 検査会場については非公開です。

1 PCR検査（社会的検査）対象者

- ・三島市に住所を有する高齢者施設、障がい福祉施設、介護サービス、保育園、幼稚園等に従事する者及び65歳以上の三島市民でPCR検査を希望し、感染症の症状がない無症状の者

2 業務開始予定

- ・概ね令和3年1月頃を予定。（ただし、社会福祉施設等従事者については、準備が整いしだい12月中の開始も検討。）

3 実施内容

- ・検査希望者が三島市健康づくり課に検査の予約をする。
- ・ドライブスルー方式によるPCR検査。
- ・検査の検体採取方法については、検査会場にて唾液を自己採取。
- ・検査費用は5,000円の自己負担。

4 案内方法について

- ・社会福祉施設等の従事者については、対象施設に直接案内通知を送付。また、65歳以上の高齢者については、令和3年1月1日号の広報みしまへの掲載及びホームページ等により周知。

5 検査結果の判定後の流れについて

- ・検査結果は翌日に判明し、陰性の場合健康づくり課から被検者に電話報告。陽性の場合には、被検者に医師から電話で連絡するとともに、保健所に報告を行い加療等の対応について引継ぎを行う。

三島市健康推進部健康づくり課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：三枝
TEL. 055-973-3700 FAX. 055-976-8896
e-mail : kenkou@city.mishima.shizuoka.jp

新型コロナウイルス感染症 市内の発生状況について

1 令和2年11月26日現在の市内感染者数

- ・現在16名の方の感染が確認されています。

(発生状況) 5月1名 8月1名 9月1名 10月1名 11月12名

(陽性者状況) 男性 9名 女性 0名 不明及び公表を望まない 7名

年齢 未成年2名 20歳代1名 30歳代2名 40歳代1名 50歳代1名

60歳代1名 不明及び公表を望まない 9名

	発表日	県公表番号	年代	性別
1	5月24日	県内75例目	高齢でない成人	男性
2	8月1日	県内276例目	20歳代	男性
3	9月2日	県内489例目	30歳代	男性
4	10月28日	県内612例目	30歳代	男性
5	11月19日	県内986例目	高齢者	公表を望まない
6	11月20日	県内1063例目	高齢でない成人	公表を望まない
7	11月23日	県内1229例目	40歳代	男性
8	11月23日	県内1232例目	高齢でない成人	公表を望まない
9	11月24日	県内1273例目	50歳代	公表を望まない
10	11月24日	県内1274例目	未成年	公表を望まない
11	11月24日	県内1277例目	高齢でない成人	公表を望まない
12	11月25日	県内1303例目	高齢でない成人	男性
13	11月25日	県内1304例目	高齢者	男性
14	11月25日	県内1311例目	10歳代	公表を望まない
15	11月26日	県内1347例目	高齢でない成人	男性
16	11月26日	県内1348例目	60歳代	男性

2 市内の感染者の状況

- ・11月後半の感染者は飲食を介しての感染が多くみられています。
- ・マスクの着用やこまめな手洗い、咳エチケット等一人ひとりの感染予防を再度実施しましょう。
- ・リスクの高まる5つの場面（飲食を伴う懇親会等・大人数や長時間に及ぶ会食・マスクなしでの会話・狭い空間での共同作業・居場所の切り替わりに注意しましょう。

3 感染された方への誹謗中傷をやめましょう。

- ・感染された方は、思いがけない経験をされて動揺し、つらい思いをされています。誰もが感染する可能性がありますので、感染された方を誹謗中傷するような行動は控えましょう。

4 発熱や感染が疑われる症状があった場合

- ・冬季になり、季節性の感染症が増加しやすくなります。発熱等の症状があった場合は、まずはかかりつけの医療機関に電話にて相談しましょう。
- ・かかりつけがない方は、三島市医師会（電話972-0711）又は三島市健康づくり課（電話973-3700）にご相談ください。
- ・発熱等受診相談センター（電話050-5371-0561）は土日祝日も含め24時間対応しています。

山一産業（株）ダスキンレントオール静岡三島イベントセンター様との協定締結式
大規模災害時におけるレンタル機材の貸与に関する協定
～ 災害時における避難所用冷暖房機等の確保 ～

大規模災害時に、避難所用のスポットクーラー等の冷暖房機や、仮設テント・仮設トイレ等の機材について、山一産業（株）ダスキンレントオール静岡三島イベントセンター様と協定を締結し、市からの要請に基づき貸与していただくこととなりました。

ここがポイント！

- 避難所用の冷暖房機や仮設テント等の貸与を受けることで、大規模災害時の避難所での生活環境の改善を図る。
- 東日本大震災以降9年間で、民間事業者との災害協定、覚書締結数は74件目となり合計で125件目となる。

1 日 時

12月15日（火） 午前9時45分～

2 場 所

市役所本館2階 市長応接室

3 締 結 先

山一産業株式会社

ダスキンレントオール静岡三島イベントセンター

（静岡県駿東郡清水町御団地233）

4 協定内容

災害時における冷暖房機・仮設テント等の貸与



【スポットクーラー・冷風機】

三島市企画戦略部危機管理課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：相田
TEL. 055-983-2650 FAX. 055-981-7720
e-mail : kiki@city.mishima.shizuoka.jp

今年は全てオンライン開催！

女性活躍のためのスキルアップ講座「むすびサロン」

三島市では、地域で働く女性を応援し、さらに女性の活躍を推進するため、女性スキルアップ講座「むすびサロン」を開催します。

本事業は、オンラインセミナー等の開催を通じて、実際の業務でも活用できるスキルの習得を目指すとともに、事業所の枠を超えて情報交換ができる実質的なネットワークを形成することを目的に実施するものです。

ここがポイント！

- 今年は全てオンラインで講座等を開催。企業の女性従業員、女性経営者、女性起業家、フリーランスの女性が集まり、5回の講座を通じて参加者のスキルアップと事業所の枠を超えたネットワーク形成を図ります。昨年度は、定員を大きく上回る44名が参加し、大好評いただいた事業です。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により大きく変化したビジネススタイルにおいて、求められる人材やスキルについて、その分野の最前線で活躍する講師から学ぶことができます。
- 今年は、経営者向けのオープンセミナーを開催。ポストコロナ時代を生き抜くためのマネジメントや、女性をはじめとするダイバーシティの推進、人材の活用について理解を深めることができます。

1 講座内容について

詳細は、別紙チラシのとおり。

※全てオンラインによる開催。

2 参加対象者

市内在住・在勤の女性従業員、女性経営者、女性起業家、フリーランスの女性

3 定員・受講料

先着30名・無料

4 申込み

三島市ホームページの「むすびサロン」専用ページ（右記QRコード）にある申込フォームからお申し込みいただけます。



ホームページ

5 申込み期限

令和2年12月14日（月）まで

6 その他

- ・第1回講座は、経営者の方も参加できるオープンセミナーです。お申込みは、三島市ホームページの「むすびサロン」専用ページにある申込フォームからお申し込みいただけます。

講座内容は、別紙チラシをご覧ください。

三島市産業文化部商工観光課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：春山
TEL. 055-983-2655 FAX. 055-983-2754 e-mail: syoukou@city.mishima.shizuoka.jp

令和3年版 三島市民カレンダーの発行

～テーマは「未来に残したい三島」～

市民カレンダーは、その年の主な事業やお知らせなどを掲載し、市民の皆様の生活に役立てていただくことを目的として、昭和42年から発行を続け、今年で55年目を迎えることとなりました。

今年の掲載写真のテーマは、「未来に残したい三島」です。市内外から319の作品を応募していただき、選定させていただきました。

ここがポイント!

- 市民カレンダーは、昭和42年から発行を続け、今年で55年目。
- 掲載写真のテーマは、「未来に残したい三島」。市内外から319作品が応募（平成29年版から掲載写真を公募）。
- 今回から表紙のデザインをリニューアルしています。

1 令和3年版市民カレンダーについて

発行日 11月30日（月）

発行部数 45,900部

配布方法 自治会・町内会を通じて、広報みしま12月1日号と一緒に配布。また、市役所、生涯学習センター、市立公民館等で配布。

2 過去（5年間）のテーマ

平成28年	幼稚園スナップ
平成29年	発見！みしまのステキ
平成30年	みしまで出会ったハピネスシーン
平成31年	今伝えたい箱根西麓の景色
令和2年	未来に残したい三島



三島市企画戦略部広報情報課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：中村、関
TEL. 055-983-2620 FAX. 055-983-2719
e-mail : kouhou@city.mishima.shizuoka.jp



情報モラル教育の推進

大人のためのスマホ・インターネット安全基礎講座

～ 安心・安全なICT環境づくりを目指して～

三島市では、市民ボランティア団体である「三島スマホ安心アドバイザー」と協働で市内小中学校を中心にスマートフォンやSNSを安全に使うための出前講座を実施しています。

子どもたちだけでなく、大人の方たちにも情報モラルについて学んでいただく機会とするため、下記のとおり「大人のためのスマホ・インターネット安全基礎講座」を開催します。

ここがポイント!

- 市が主催する情報モラル教育の中で、市内在住・在勤の大人を対象とした取り組みです。
- インターネットやSNSでおきる様々なトラブルから自分自身や子どもたちを守るための基礎知識を得ることができる講習会を実施します。
- 講習会終了後には Zoom や LINE を利用した WEB 会議体験会を実施します。

1 開催日時

令和2年12月6日(日)

- ・午後2時から午後3時：講習会
- ・午後3時から午後3時45分：WEB会議体験会

2 場 所

生涯学習センター5階 第1研修室・第2研修室・第4研修室

3 対象・定員

市内在住または在勤のおおむね20歳以上 定員15人

4 講座内容

- (1) 情報化社会
- (2) インターネットと人権
- (3) 個人情報流出トラブル
- (4) 位置情報クイズ
- (5) いろいろなトラブル
- (6) スマホ決済アプリ
- (7) ネット被害から身を守ろう
- (8) 自分を守るために

三島市企画戦略部広報情報課デジタル戦略室 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：神成
TEL. 055-971-4322 FAX. 055-975-9590
e-mail : jyouhou@city.mishima.shizuoka.jp



せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島 ～環境と食を大切に～

市民の想いがこもった作品の数々が誌面を飾る

市民文芸誌「文芸三島」

～今年は43号！入賞者表彰式も開催～

「文芸三島」は、文芸活動に関心をもつ市民の皆さんの作品を掲載した文芸誌で、昭和53年度に創刊して以来、市民の文芸創作活動の場として定着しています。12月9日（水）に発行となる第43号には、8部門に175作品の応募があり、約160作品が掲載されます。

また、12月10日（木）には入賞者表彰式及び入選者・編集委員との意見交換会が行われます。

ここがポイント！

- 昭和53年度発行の創刊号には、三島市にゆかりのある文化人の小出正吾氏、五所平之助氏、大岡博氏が選者として名を連ねる。
- 詩、短歌部門を一般の部、学生の部に分けて掲載。

1 文芸三島第43号概要

(1) 発行について

発行・編集	三島市・三島市教育委員会・文芸三島編集委員会
発行日	12月9日（水）
発行部数	600部
作品部門	小説、評論、随筆、詩、短歌、俳句、川柳、はめ字文（計8部門）
応募資格	市内在住、通勤・通学、もしくは市内で活動する文芸団体に所属
応募点数	175点（132人）

(2) 販売について

期間	令和2年12月11日（金）～令和3年3月5日（金） ※3月8日（月）以降は文化振興課にてバックナンバーとともに販売
価格	1冊600円
販売場所	文化振興課、図書館本館、図書館中郷分館、協力書店

2 文芸三島第43号入賞者表彰式

日時	12月10日（木）午後1時30分～（約1時間）
会場	市民生涯学習センター3階 講義室
賞本数	最優秀賞「文芸三島賞」6本 奨励賞「文芸三島奨励賞」40本
入賞者	別紙一覧のとおり <u>※入賞者の公表解禁は12月10日（木）午後2時30分とさせていただきます。</u>
出席予定者	入賞者43人（重複受賞を含む）、 編集委員（委員長 藤岡武雄氏）8人、 選者8人（6人は編集委員を兼任）、市関係者4人



【文芸三島42号表彰式の様子】

三島市産業文化部文化振興課 〒411-8666 静岡県三島市大社町1-10 担当：佐藤
TEL. 055-983-2756 FAX. 055-981-7720
e-mail : bunka@city.mishima.shizuoka.jp

テレワーク移住セミナー ～語ろう！これからの移住生活～

本市では、「住むなら三島・総合戦略～まち・ひと・しごと創生～」に基づき、人口減少対策として、新幹線で品川まで最短37分という立地を生かした移住定住を進めております。

昨今の新型コロナウイルスを機にテレワークを始める方が増加し、地方への移住に注目が集まっていることを受けて、「テレワーク移住」をテーマにしたオンラインセミナーを次のとおり開催します。

ここがポイント！

- 三島市へ移住をし、テレワークや新幹線通勤をしている先輩移住者をゲストスピーカーに迎える。
- 先輩移住者と参加者が相互にコミュニケーションを取れるよう、交流会を開催。
- 今回のオンラインでのセミナーを機に、1月開催の市内での移住体験ツアーの参加につなげる。

1 日時・場所

- (1) 日時 12月12日(土) 午後2時～3時40分
- (2) 会場 みしま未来研究所からオンライン配信

2 セミナーの詳細

- (1) 開催方法
Microsoft Teams を使ったオンライン配信
- (2) 内容
 - ・三島市の紹介
 - ・ゲスト3名によるクロストーク(移住のきっかけ、移住候補地選び、一日の過ごし方)
 - ・オンライン交流会(3グループに分かれて、先輩移住者のゲストスピーカーと交流)
 - テーマ1 移住先でのコミュニティ形成
 - テーマ2 趣味を生かした移住のリアル
 - テーマ3 親目線の移住生活
- (3) ゲスト
三島市に移住をし、テレワークや新幹線通勤をしている市民3名
- (4) 参加費用
無料
- (5) 定員
セミナー 定員なし、交流会 15名
- (6) 申込期間・申込方法
11月20日(金)から12月11日(金)午後3時までの間に、しずおか電子申請サービスにより申込み
- (7) 主催
三島市



令和2年 年末の交通安全県民運動

～安全を つなげて広げて 事故ゼロへ～

市民一人ひとりが、自らの交通安全に関する意識を高め、交通ルールへの遵守と交通マナーの実践に努めることにより、交通事故防止を図ります。

ここがポイント！

- **初日一斉街頭広報の日（12月15日（火））**：本運動の開始を広報するとともに、街頭における交通指導等を行い、期間中に行われる各種活動への取組意識を高めます。
- **飲酒運転根絶啓発活動（12月18日（金））**：県下統一主要行事「飲酒運転等危険運転防止の日」に合わせ、「飲酒運転をしない・させない」環境づくりの推進のため、飲食店への啓発協力と、幹線道路沿いでのパネルやのぼり旗による通行車両への啓発を実施します。

1 日時・場所

日時 令和2年12月15日（火）～31日（木）の17日間
場所 三島市内各所

2 事業の詳細

・初日一斉街頭広報

日時 令和2年12月15日（火）

内容 運動開始を周知する「初日一斉街頭広報」を各種交通関係団体と協力して行います。市役所前では、三島警察署員、交通安全協会三島地区支部交通安全指導員、関係団体の代表者、三島市職員約50名で、のぼり旗を掲出してドライバーや歩行者に交通安全の啓発を行います。

・出張！交通パトロール“トラパト”

日時 令和2年12月16日（水）、22日（火）

内容 市内各種施設の駐車場で、のぼり旗や看板を用いて、録音した音声を流しながら、施設利用者へ交通安全を呼びかけます。

・飲酒運転根絶啓発活動

日時 令和2年12月18日（金）

内容 萩交差点周辺の飲食店を訪問し、店内へのポスターの掲示や啓発品等の活用を依頼します。

店舗訪問後は幹線道路沿いで、一文字パネルや手持ち看板を持ち、通行車両への啓発を行います。



▲ トラパトの様子（令和2年秋）



▲ 幹線道路沿いで一文字
パネルによる街頭啓発

三島市環境市民部 地域協働・安全課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：小澤
TEL. 055-983-2651 FAX. 055-975-3130
e-mail : chiiki@city.mishima.shizuoka.jp